

令和 4 年 3 月 2 3 日
令和 3 年度第 1 回徳島県南部地域医療構想調整会議
海陽町国民健康保険海南病院

海陽町国民健康保険海南病院の具体的対応方針について

- 1 令和元年度の病床機能報告において、回復期機能の基準に当てはまる患者が多数を占めていたため、令和元年 7 月 1 日時点における病床の機能を、「急性期機能」から「回復期機能」へ変更している。
- 2 厚生労働省により、令和元年 9 月に再編・統合の議論が必要な公立・公的な病院として公表されたことを受け、令和元年 1 1 月に海南病院改革検討委員会を設置し、今後の方針・運営等について令和 2 年 1 1 月まで 6 回開催し協議を行った。

海南病院改革計画（令和 2 年度～令和 4 年度）を策定して、各取組項目について目標を立て実践していくこととし、各年度目標達成の評価については、院内会議をはじめ、海南病院改革検討委員会において、検証し評価している。

海部地域はもとより、高知県東部の医療を担う病院として、さらなる機能の向上に取り組んでいく方針とした。

運営方針として、病床機能は回復期、病床数は 4 5 床（一般病床 3 3 床、地域包括ケア病床 1 2 床）を維持するが、急性期病院である徳島県立海部病院との機能分化・連携を推進し、回復期患者、看取り患者等の受け入れ等について更なる連携を図る。

海南病院改革計画（令和2年度～令和4年度）

海南病院改革（今後の重点的な取り組み）について

（1）地域から信頼される病院を目指す。

① 看取りに係る長期入院

看取りに係る長期入院ができるよう可能な限り病床を確保する。

② 在宅医療等の充実

訪問診療、巡回診療、訪問看護、訪問リハビリの実施。

③ 地域・関係機関との連携

地域連携室を設置し、役場、地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携する。また、特に穴喰診療所をはじめ、特別養護老人ホーム海南荘及びその他介護事業所等とは常に連絡・連携を密にし、町民が住み慣れた海陽町で、できる限りいきいきと生活できるように、関係機関一体となって取り組む。

④ 情報通信機器を用いた診療等

第5世代移動通信システム5Gを活用して、他医療機関と連携して、遠隔医療の実施を検討し、また、町内各地区集会所や地域サロン等にて、オンライン診療の実施について検討する。

（2）海陽町一般会計からの繰入金（収支不採算分）を減らし、健全な経営を目指す。